

事業所名

## 児童発達支援 とらこや 支援プログラム

作成日

令和 6 年

11 月

11 日

法人（事業所）理念	「全ては子どもたちのために」					
支援方針	保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等が専門的な視点で評価を行い、多職種でのアセスメントを行い支援します。個別の特性に配慮しながら、その子がその子らしく楽しく生活をしていけるよう、困りごとへ対応し、子どもの発達段階に応じたできる事を増やしていきます					
営業時間	8 時	45 分から	15 時	30 分まで	送迎実施の有無 あり (同グループの保育園のみ) 基本的には保護者送迎	
	支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と協力し睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身につけられるよう支援していきます</li> <li>口腔機能訓練、食形態の調整、姿勢調整、自助具を作成するなどし、子どもの能力に合った食事の提供を行い、食事を楽しめるよう支援していきます</li> <li>医療的ケアが必要なお子さんには医療機関と協力し、看護師による医療的ケアを実施します</li> </ul>				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学療法士の評価のもと、姿勢保持や移動能力の獲得のための機能訓練、福祉用具導入へのお手伝い等を実施していきます</li> <li>作業療法士の評価のもと、感覚特性を踏まえた感覚統合遊びや手先の不器用さに対しての微細運動の訓練を実施していきます</li> <li>感覚特性に配慮した環境の提供します</li> </ul>				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>注目する場所が分かりやすく、集中しやすいように、朝の会に視覚的な情報を取り入れていきます</li> <li>感覚や認知の特性を評価しながら、偏食に対しての支援をしていきます</li> <li>様々な教材を使用し、遊びの中で、数や色、大きさなどの概念の習得を図ります</li> </ul>				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語聴覚士の評価のもと、語彙の獲得や言葉の理解、様々な方法（言葉、ジェスチャー、指差し等）での表出を促す支援をしていきます</li> <li>ジェスチャー、サイン等や言葉を使ったやりとりの習得に向けた支援をしていきます</li> <li>生活中で、事物や動作と言葉が一致するよう支援をしていきます</li> <li>コミュニケーション面の発達において大切な三項関係を生活場面で築いていきます</li> </ul>				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な経験を大人やお友達と一緒にを行い、一緒に楽しむことで安心・安定した人間関係を形成します</li> <li>特性への配慮を行なながら段階的に集団へ参加していけるよう支援していきます</li> <li>受け入れられる方法を提案しながら、子ども自身で行動を切り替えられるよう支援していきます</li> </ul>				
家族支援		・保護者交流会を実施し、保護者同士でお話する機会を作ります ・実際の療育の様子と一緒に見ながら、支援方法についてお伝えします	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の保育所等と連携し、協力して子どもの生活を支えていきます</li> <li>地域で楽しく暮らしていくよう、遊び場やサービス等の情報を提供していきます</li> </ul>		
地域支援・地域連携		・居住する市町の保健師や園、相談支援事業所、医療機関等と連携し支援を考えます	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待、身体拘束、感染、緊急時対応などの勉強会</li> <li>グループ内の専門職による発達勉強会、外部研修会への参加</li> <li>学会発表等</li> </ul>		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日会</li> <li>季節の行事製作</li> <li>プール遊び</li> <li>お散歩</li> <li>クリスマス会</li> <li>ハロウィンパーティ</li> <li>卒園式</li> <li>小学生との異年齢交流</li> </ul>				